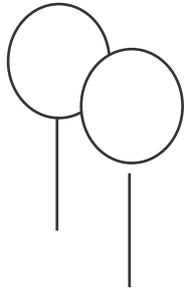
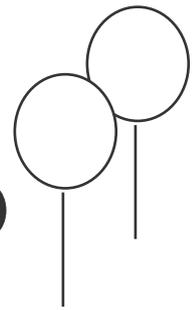


ふうわ会報



ふうわ。わ。わ。



—第15号—

新社会人、入学おめでとう号

花は咲き若葉は萌え、うきうきする春がやってきました。

「ふうわ」の仲間たちも、卒業、入学、進級とそれぞれに新しいスタートを
きったところでは。今号は新社会人、ご入学の皆様をご紹介します、お祝いを
したいと思います。

主な活動(1月～4月)

- ・1月28日・会報(第14号)の印刷、配布
- ・2月1日 ・集いホテル正式予約、打ち合わせ
- ・2月13日・実行委員会{活動計画、文章作成}
- ・2月22日・集い2日目活動地下見
・情報委員会
- ・3月8日 ・実行委員会{下見報告、活動計画}
- ・3月20日～25日 ・助成金申請書作成、提出(ヤマト財団)
- ・3月27日・ 全国盲ろう者協会評議委員会出席
- ・4月10日～11日・集い予定地下見、活動計画
- ・4月11日・郵便振替口座開設申請
- ・4月12日・実行委員会{活動計画}

- ・4月14日～19日・集い申込書作成
- ・4月19日・実行委員会・{申込書最終チェック}
- ・4月25日・申込書印刷
- ・4月26日・実行委員会・{申込書配布準備}



新社会人、新入学の皆様おめでとうございます。

お母様方よりメッセージを頂きました。

W. Dくん

我が家の大事な三人目ちゃん、Dは、五月末で4才になります。9番目の染色体異常かつ先天性緑内障、口蓋裂、難聴、と、いろいろ持って生まれましたが、一生モノだと覚悟していた鼻チューブはすっかり取れて、もうかれこれ二年になります。まだまだ食事には苦勞しますが、ペーストオンリーだった食形態も、少しずつ少しずつレベルアップし、今は、刻みがかなり混じったものだって、ぱくぱく食べてくれるようになりました。

そんな彼は、この四月から、市内にある知的障害児通園施設「A学園」への通園二年目を迎えます。

通園一年目である昨年は、Dが、お母さんと一緒にいられる安心感を大切にしようね、と、担任から言ってもらい、給食も、私と食べていました。(完全母子通園です)

ところが、新しいクラス、新しい担任に変わった二年目は、いきなり先生に給食食べさせてもらってるし、大好きな大波小波のタオルを見ると、すばやくずりばいで、誰よりも早くタオルに向かっていくし、と、明らかに、この一年の成長を感じている今日この頃なのです。

二年目からは、保育時間も長くなり、週に三日、昼寝もしての3時降園となります。去年は月二回だけだった「分離」の日も、今年からは月4回に。

クラスのメンバーは7人。Dより一つ大きい子が二人と、あとはDより小さい子が四人。「先輩」になっちゃいました。私自身も、保護者会の会長になったので、今年は、去年以上に忙しくなりそうです。

他にも、長男の小学校のPTAの学級委員、あと、県内にある、ダウン症の会の中に、ダウン症以外の染色体異常の部も立ち上げてる関係で、部長及び会の役員でもあるし。

Dと一緒に毎日母子通園しながら、おいしい給食をがつつり食べ、夜な夜なの焼酎飲みながらドラマ三昧、で息抜きしつつ、楽しくこの一年を過ごしたいと思います。

二歳で寝返り、三歳でずりばい、を成し遂げてくれたD。今年は、お座り達成、ができる嬉しういかな。今も、手をつかせてあげて、歌を歌ってあげると、しばらくは座っていられるようにはなったんですよ。

あと、学園で毎日お昼休みに乗ってるポニーウォーカー(歩行器みたいなものです)。半年前に初めて前進して以来、日々、気まぐれながらも、行くときは、すいすいと前進してるので、是非、運動会のかげっこには、ポニーに乗ってびゅんびゅんゴールへ向かう姿を見たいな、とも思っています。

夏の集い、ものすごく楽しみにしてます。懸念していた学園のキャンプと、今年は重ならなかったもので、初の飛行機も含めて、家族旅行、楽しみにしてます

T. Yさん

4月より、T聴覚特別支援学校に無事入学させていただきました。
Yが2歳の頃から教育相談でお世話になっている学校なので安心してお任せできます。
Yは「学校」にまだまだ??な様子ですが赤いランドセルを見ると「行く！」と玄関へと向かいます。通うほど慣れて分かっていくはず…と毎日車で50分の送迎に覚悟を決めた母です。

特別支援学校の専門教育は本人にとって絶対必要だし…でも保育所で楽しく遊んでくれた地域のお友達と離してしまうのは惜しいし…と悩みましたが地域交流ということでお兄ちゃんの通う学校にも時々行かせて頂けるといふ事になり、私も楽しみにしています。

はじめてふうわの会に出会った時「食べないんです…」と相談していたYが今では給食をガツガツ食べています。

N. Rさん

24週の早産による未熟児網膜症（左目光覚あり）、聴覚は測定不能。
小学部3年生あたりから、学校で指文字、点字等の学習が進んできて、
少しずつ本人から発信もみられる様になってきました。
まだまだ会話のやり取りは、難しいですが、予測の出来る（行動に）生活になり少しずつ安定して来ました。
中学部ではどんな成長を見せてくれるか楽しみにしたいと思います。



I. Kさん

いよいよ 4月から高校生です。
高等部は男の子ながら 被服科を選択しました。この子に何ができるかな？
少しでも 楽しく生活ができるように自立を促してやりたいです。
寮生活も10年目。
思い返せば はやーいね ～～ の一言です。この先も不安がいっぱいですが、
一歩ずつ焦らず 一緒にがんばります。
いっぱい 遊びにいきましょうー

K. Rさん

時が経つのは早いもので、4月からY学院の高等部に入学しました。

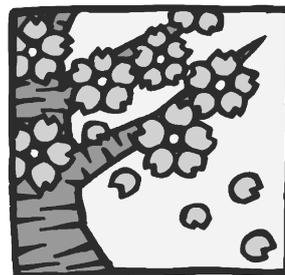
花の女子高生です。(笑)

Y学院には中学部から通っています。3年前の中学部の入学式では幼稚部から小学部まで通っていたY盲学校と違うと怒って、入学式を行っている講堂には一步も入らず苦い思い出となりました。

あれから3年、すっかり落ち着き最初から最後まで席に着いて入学式に出席しリベンジできました。また、学校の極め細やかな指導のもと中学部の部屋から自分の荷物を高等部に運び、引越しをすることで学部が変わったことがわかり高等部生活をスムーズにスタートすることも出来ました。

些細なことですが、Rにとっては大きな成長です。

これからの3年間は楽しみです。



S. Tさん

私の新しい生活

私は今年の春、F盲学校高等部普通科を卒業しました。
今は市内の作業所に3月17日から通っています。

作業日	月曜日～金曜日
作業時間	9時～3時まで お昼休み1時間
作業内容	お菓子や飲料水の箱折り シールはがし ストラップ作りなど
人数	指導員4人 利用者14人

私の作業は、主に箱折りです。

5時間で約250～300枚折ります。

昼休みは、散歩をしたり、お昼寝をしたり、みんなでおしゃべりをしたりして過ごしています。

作業所での行事もたくさんあり、とても楽しみです。

これからの目標は作業所まで自分で通えるようにすることです。

(原文は点字でいただきました)

お陰様で無事高等部を卒業してあまり間を空けずに作業所に通い始めました。自宅から通える範囲で探していた為、限られた中からの選択でしたが、本人が箱折りならできると決めたところが今の作業所でした。

新しい環境で不安でしたが、指導員の先生たちはもちろん、利用者の方々もとてもやさしく迎えて下さりました。

卒業後、毎日通える場所があることに一息ついている今頃です。

これからは、たくさんの人との交流の中で世界を広め、本人が自分のやりたいことを探し、実現に向けていけたらと思います。

ふうわの会員の方たちには、これからもお世話になることと思います。今後共、宜しくお願い致します。

U. Kさん

12年間通学したM盲学校を3月卒業し作業所に通っています。

ここに決めたのは、身体障害者通所授産施設であること、O施設長ご自身が視覚障害者で盲学校の専攻科教師をされていたことがあり、毎年、現場実習懇談会等で学校にこられて、お話を聞く機会が多く視覚と聴覚障害の恭輔の理解を得られることができたことです。

高等部3年生最後の夏休みには1週間の体験実習をし、また、3学期には盲学校で初めて、Kのケース会議を、教育相談を受けていた聾学校の先生、咀嚼で受診している、療育センター小児科のドクター、地域福祉相談員の方、視聴覚センターの方、作業所の施設長と指導員さん、などを招き、母と盲学校の先生も多数参加して、子どもの障害の理解や現状、そして、問題点などの話し合いがおこなわれました。画期的でした。また、作業所指導員さんも学校での様子を見学して、Kができる作業を考えてくださり、現在、アルミ缶入れや、ビーズのれん作りなどを行っています。ですが、早くも、心配していた、イヤーマールドがなくなってしまい説明をして理解してもらう必要が生まれました。

通所当初は学校でない作業所にどうして来ているのか理解できなくて、パニックもおこしましたが、今はだいぶ慣れて、指導員さんにもお茶目なKをみせてるらしく、ほっとしています。母も作業所の親の会での定例会やバザー一品作りに行き先輩親御さんとの交流をしています。

作業所の休みの水曜日は生活介護で、身体障害者施設と知的障害者の自立支援センターに週替わりで行き、入浴や行事に参加しています。ごろごろするのが好きなKには、毎日毎日予定をこなすのはしんどいかもかもしれませんが、慣れてリラックスできるところになればいいなあと思っています。

※おことわり

今回、正会員名簿により対象のみなさんをご紹介させていただきました。

一部、生年月日が分からず、対象であるにもかかわらずご紹介できていない方が

いらっしやいましたら申し訳ありません。

お詫び申し上げます



■ 「横浜の盲ろう児家族のスキーツアー」から感想が届きました。

☆M. Hさん

僕は、初めて横浜のスキーの会に参加できて良かったです。

2月23日の1日目は、Iさんと一緒にリフトに乗ったり、上からスキーをしたりして、楽しかったです。

スキーの時、カタカナのハの字の形で滑ったけど、途中で足がまっすぐになって、滑るのが速すぎて転んじゃいました。でも、雪の上なので、転んでも痛くならなくて良かったです。顔に雪があたってとっても冷たかったです。途中で部屋の中に入って、ストーブの前に椅子に座って、冷たかった顔があたたかくなるまで待ちました。

また、外に出てリフトに沢山乗ったり、スキーを続けました。

滑っている途中にまた失敗をしました。たくさん、たくさん練習をしたけど、まだまだ失敗でした。失敗ばかりで悔しかったです。

24日の二日目もスキーを続けました。リフトにたくさん、たくさん乗って楽しかったです。Kさんが来てくれて、とっても嬉しかったです。

だから、一緒にスキーをやりました。足をハの字の形に滑れました。

でも、一人で滑ると足がまっすぐになって、速くなりすぎるから、KさんとMさんと滑りました。左に曲がったり右に曲がったりが少しできたと思いました。

スノーボードは初めてでした、板が太くて足を2本入れて滑ってみました。

滑り方が分からなくて困りました。坂の雪でなく、でこぼこの所でやってみました。

ソリもしたかったけど、時間がなくて残念でした。

(原文は点字でいただきました)

☆ S. Hくんのお母さん

2月23日から24日迄、一泊二日でスキーに参加させていただきました。

Sは生まれて初めての体験。ソリに乗せてもらったり、おんぶしてもらって

ゲレンデを滑降してもらったり、至れり尽くせりのスキーデビューだったのですが・・・

誰の行いが悪かったのか、2日間とも吹雪で・・・恩知らずなSは最後、寒いと泣き出してしまいました。

夏の集いの折に、「冬はスキーがあるよ」と言われた時は、「スキ～～？」という感じだったのですが、冬に誘われた際には、「行く、行く～！！」と答えていた私。横浜

に来て一年、多くの方々との出会いによって、Sの世界と私の意識が広がりつつあることに密かに喜びを覚えています。
スキーの企画、運営をして下さった方々を初め、この一年、私たちに関わって下さった方々に感謝します。



☆ T. Hくん

2月23日と24日にスキーに行きました。新潟の中里に行きました。朝早く横浜の盲学校に集まりました。みんなと一緒にバスに乗りました。ぼくは、K君とFさんのとなりにすわりました。ずっとお話ししました。

新潟につくと、雪がたくさんふっていました。すぐにきがえてスキーを始めました。ふぶきでした。でも、がんばりました。Gさんとスキーをしました。

夜、Yさんが新かんせんで来ました。夜おそくまでお話ししました。

次の日は、早くおきてスキーのじゅんびをしました。午前中スキーをしました。Yさんと一緒にすべりました。またふぶきでした。寒かったけれど、楽しかったです。

帰る時もバスに乗りました。高そくどうろがじゅうたいしたので、家に帰るのがおそくなりました。

また来年もみんなと一緒にスキーに行きたいです。

■お知らせ■

○ 第18回全国盲ろう者大会」

日程・平成20年8月22日(金)～25日(月)

場所・安芸グランドホテル

申込み・問い合わせ先・社会福祉法人全国盲ろう者協会

TEL・03-3512-5056

FAX・03-3512-5057



全国大会ふうわ担当のKくんからの伝言です。
「第18回全国盲ろう者大会が、今年8月に広島で開催されます。皆さん是非参加してくださいね。」

○ 第6回研究協議会

期日：2008年8月17日(日)・18日(月)

場所：神奈川県民ホール(山下公園に面し、海がすぐ近くで、中華街にも近いロケーション抜群の場所です)

内容につきましては、現在検討中です。

問い合わせ先・全国盲ろう教育研究会事務局

TEL 03-3942-6923 FAX 03-3942-6938

■本の紹介■

「盲ろう者への通訳・介助」
—「光」と「音」を伝えるための方法と技術—

全国盲ろう者協会・編著

発行元：読書工房 1680円

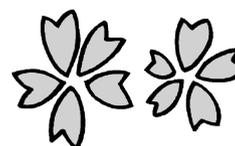


目と耳の両方に不自由を感じている人にとっての「自由」と「自己決定権」の保障をめざして一人ひとり異なるニーズを持つ盲ろう者を支援するため、これまで生みだされてきた多種多様な通訳・介助の方法を分かりやすく解説する1冊です。

著者は、これまでも盲ろうに関わっていらしたみなさんよくご存知の方々です。



ふうわ夏の集いのお知らせ



昨年9月より実行委員会をたちあげてホテル探し、活動計画、活動地下見とこつこつと活動してきました。

初めての担当ですのでいきとどかない面も多々あるとおもいますが地元の方々や役員さんに色々おしえてもらい集いまであと4ヶ月となりました。

皆様にお会いできるのを福岡でお待ちしています。

どうぞご協力宜しくお願い致します。

日時:: 8月8日{金}～10日{日}
場所:: ウエルサンピア福岡
集合:: 8月8日{金} 14:00～
問合せ先:: fuwadb@yahoo.co.jp

■ 原稿のお願い ■

コミュニケーションって・・・

コミュニケーションを辞典で引くと、「ことば、文字などによってたがいに思想、意思などを伝達、交換すること」とありました。

では、「ふうわ」の仲間たちはどうでしょうか。10人いれば10通りの、20人いれば20通りのコミュニケーションの方法があると思います。

今、コミュニケーションを作ろうとしているママたち、我が子にはどういう方法が良いのだろうかと悩んでいること、わからないことなどありませんか？

反対にコミュニケーションが出来上がっている先輩ママたち。一言で「コミュニケーション」といっても成り立つまでには大変なご苦労があったと思います。どうぞそれを教えて下さいませんか？

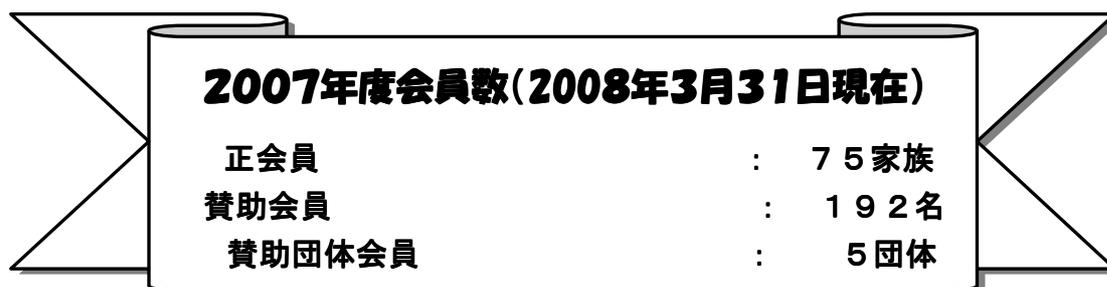
せっかく「ふうわ」という仲間たちがいるのですから、皆で考えてみませんか？

原稿は、下記連絡先までお願い致します。お待ちしております。

＊ ＊ご寄付のお礼＊ ＊

2008年3月までに8名の方からご寄付を頂きました。

合計21,000円は、ここにご報告させていただきますと共に、心よりお礼申し上げます。



2007年度会員数(2008年3月31日現在)	
正会員	: 75家族
賛助会員	: 192名
賛助団体会員	: 5団体

(2008年1月～2008年3月)

賛助会員<<新規加入者>> 2名

応援してくださった賛助会員の皆さん、ありがとうございます。

これからも末永く、よろしく願いいたします。

ミニ情報！

◆青い鳥はがき◆

身体障害者手帳 1, 2 級又は愛の手帳 A 1、A 2 を持っている方に青い鳥はがき 20 枚が配布されます。希望される方は郵便局で手帳を提示して手続きをするだけ。期間は 4 月～6 月 2 日までです。

2008年度会員継続のお願い

今年度中は、皆様のご支援・ご協力をいただきまして有難うございました。同封いたしました振替用紙にて 2008 年度（6 月～翌年 5 月）の会費納入をよろしくお願いいたします。納入と同時に会員継続となります。

なお、会報を点字版、拡大版で希望される方、または会報送付を希望されない方は、その旨振替用紙にご記入ください。

賛助会員は随時募集しています。お知り合いの方をお誘いいただきたくお願い申し上げます。

<お知らせ>

何年度会費まで納入いただいているかが、分かりやすいよう封筒の宛名下段に「〇〇年度まで済」と印字いたしましたので、ご確認をお願い致します。

正会員(盲ろうの子とその家族)年会費	2,000 円
個人賛助会員年会費	1 口 1,000 円 (口数は問いません)
団体賛助会員年会費	1 口 5,000 円 (口数は問いません)

郵便振替口座	00110-9- 629057
加入者名	ふうわ

【編集後記】

春は出会いと別れの季節ですね。毎年、喜びと嬉しさと、そして少し寂しいようなそんな気持ちになります。新社会人、新入学された方はもちろん、進級した皆さんも新しい環境で頑張っていることでしょう。今年度も楽しい一年でありますように・・・

最後になりましたが、お忙しい中、原稿をお寄せくださった皆様、ありがとうございました。

問合せ・連絡先

メールアドレス : fuwadb@yahoo.co.jp